

杏林医学会雑誌投稿規程

2014年1月6日改訂
2015年1月5日改訂
2017年4月3日改訂
2019年9月30日改訂
2020年5月18日改訂
2021年9月24日改訂
2022年1月7日改訂
2022年6月13日改訂
2023年7月28日改訂
2024年1月23日改訂

【投稿資格】

本誌への投稿の筆頭著者は、投稿年度の会費を納入した本会会員に限る。ただし、編集委員会の企画による依頼投稿は会員に限らない。

【論文の種類】

本誌は、医学・保健学および科学一般に資する邦文または英文の論文を掲載する。論文の種類は次の通りである。

a) 原著論文 b) 症例報告 c) 総説 d) その他

なお、原著論文、症例報告、総説は未発表のものに限る。他から転載する場合は、転載許可のあるもの、または許可不要のものに限る。

【倫理規定】

1) 人を対象とした研究・報告、並びに、遺伝性疾患やヒトゲノム遺伝子解析を伴う研究・報告は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して行われたものでなければならない。また、その実験が行われた施設の安全管理規程に則っていなければならない。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針：

<https://www.mhlw.go.jp/content/001077424.pdf>

杏林大学遺伝子組換え実験安全管理規程：

[http://www3.kyorin-u.ac.jp/somu/kisoku/3/%E2%85%A0daigaku/3-045%20kyorindaigaku%20idensi%20kumikaejikken%20annzennkanrikitei%E3%80%90H31.4%E3%80%91\(H31.2.22\).pdf](http://www3.kyorin-u.ac.jp/somu/kisoku/3/%E2%85%A0daigaku/3-045%20kyorindaigaku%20idensi%20kumikaejikken%20annzennkanrikitei%E3%80%90H31.4%E3%80%91(H31.2.22).pdf)

2) 動物を用いた研究については、「杏林大学における動物実験等の実施に関する規程」を遵守して行われたものでなければならない。

杏林大学における動物実験等の実施に関する規程：

<http://www3.kyorin-u.ac.jp/animal/animal-kitei-h28.pdf>

3) 症例報告等の患者を対象とした報告は、患者プライバシー保護に十分留意しなければならない。

なお、施設の研究倫理審査委員会等の承認のもとに行われた研究は、その旨を本文中に明記しなければならない。また、利益相反の有無にかかわらず、それを本文中に申告しなければならない。

杏林大学利益相反に関する指針：

<https://www.kyorin-u.ac.jp/univ/faculty/medicine/asset/pdf/COIguideline.pdf>

【投稿方法】

1) 投稿は随時受け付ける。

- 2) 投稿時は以下のものを提出する。
 - I) 図，表を含めた原稿一式（紙媒体） 3部（総説の場合は2部）
 - II) 図表チェックリスト（紙媒体） 3部（総説の場合は2部）
 - III) 電子データ：筆頭著者名，所属，使用したOS，アプリケーション名を明記したCD。
 - IV) 投稿承諾書：共著者のある論文は，共著者全員が署名捺印した投稿承諾書を添付する。
 - V) COI申告書：利益相反の有無について提出する。
- 3) 提出された原稿，CD等は原則として返却しない。

【論文の採否と著作権】

- 1) 投稿された論文は，編集委員会にて論文の種類を決定し，原著論文・症例報告の場合は2名，その他は1名の査読者により審査される。なお，査読者の氏名などは公表しない。採否は編集委員会が決定し，掲載は論文の採択順に行う。
- 2) 査読後，事務局より著者へ査読結果を連絡する。再査読が必要となった場合は，2カ月以内に修正原稿と査読者への回答を再提出する。
修正原稿の提出方法は以下の通りである。
 - I) 査読者A，B（査読者2名の場合）からのコメントに対する修正部分を赤色フォントで示す。
 - II) コメントに対する回答はA，B個別に作成する。
 - III) I，IIを紙媒体で2部（総説の場合は1部），およびメールに添付して電子データを事務局まで提出する。（修正箇所の内容によってはデータ提出のみでも可）
- 3) 掲載論文等の著作権は杏林医学会に帰属する。杏林医学会は，当該論文の全部または一部を，杏林医学会のホームページ・医学会が認めたネットワーク媒体・その他の媒体において，任意の言語で，掲載・出版（電子出版を含む）できるものとする。この場合，必要に応じて当該論文の抄録等を作成して付すことがある。

【論文の公開】

- 1) 杏林医学会雑誌は電子媒体として公開する。公開日は原則的として1号 3月31日，2号 6月30日，3号 9月30日，4号 12月31日とする。
- 2) 原著論文，症例報告，総説，および編集委員会が必要と認めた記事はJ-Stageで公開する。上記以外は杏林医学会ホームページで医学会雑誌の一部として公開する。

【投稿料・掲載料等について】

- 1) 投稿料・掲載料は無料であるが，掲載稿の別刷を希望する場合には実費を著者負担とする。
- 2) 学位論文の要旨及び審査要旨の掲載については，事務費として一件10,000円を支払う。

【原稿の様式について】

論文種類	要旨・抄録		※本文字数	キーワード	図表数	文献数
	和文	英文				
原著論文	400字以内	400語以内	10,000字以内	6語以内	10点以内	30以内
症例報告	400字以内	400語以内	6,000字以内	6語以内	5点以内	15以内
総説	400字以内	300語以内	10,000字以内	5語以内	10点以内	制限なし
その他			6,000字以内			

※本文字数（スペース含めない）には，表題，要旨，抄録，図表説明，文献は含まれない。

英文論文の場合，本文はA4版13枚以内とする（下記1）参照）

- 1) 原稿は可能な限りMicrosoft Officeのアプリケーションソフトで作成する。用紙はすべて縦A4判，横書き，40字×20行で作成する。英文の原稿はダブルスペースとし，TimesまたはTimes New

Roman〔12ポイント〕を使用する。また、原稿には頁を付与する。手書き原稿は受け付けない。

2) 原稿は表題 (Title), 要旨 (Summary), 本文 (Text), 謝辞 (Acknowledgment), 利益相反 (Conflict of Interest), 引用文献 (References), 図説明文 (Figure Legends), 図 (Figures), 表 (Tables), 英文抄録 (Summary in English) の順序とする。なお、欄外表題 (Running Title: 和文20字, 英文10words程度) も記載のこと。なお、英文論文の原稿には邦文表題・著者名・所属・要旨も添付すること。

3) 利益相反の有無については、本文の末尾に記述すること。

例) 利益相反なしの場合

「本論文に関して、開示すべき利益相反関連事項はない。」

「The authors have no conflicts of interest to declare.」

例) 利益相反を有する場合

「本論文の第1著者は、[企業名]より助成を受けた。」

「This study was funded by [企業名].」

「XXX, YYY and ZZZ [該当する著者名] received honorarium from [企業名].」

「AAA, BBB, and CCC [該当する著者名] are employees of [企業名].」

4) 原稿第1頁は、表題・著者名・所属・英文キーワード・欄外表題・筆頭著者および責任著者 (corresponding author) の連絡先 (e-mailアドレス) を記入する。

5) 原稿第2頁に、要旨を記入する。

6) 原稿第3頁以降に、本文を記入する。

I) 本文は、原則として緒言 (Introduction), 方法 (Methods), 結果 (Results), 考察 (Discussion), 結論 (Conclusion) の順序とする。

II) 略語は、初回は正式名を用いた後に括弧に入れて記入し、2回目以後からはそのまま使用してもよい。また、本文の最初のページに脚注として略語表をつける。

III) 度量衡の単位はm, cm, mm, μm , nm, A, l, ml, msec, sec, min, hr, kg, g, mg, ng, pg, mol, m/s, mmHg, $\text{Hz}(\text{s}^{-1})$, V, mV, A, mA, Ω , W等を用いる。

IV) 図および表の挿入箇所を本文中に明記する。

7) 引用文献はバンクーバー方式 (引用順方式) を用い、書誌の書き方としてNLMスタイルを採用する。

I) 引用は本文中に片カッコ付きで上付けした引用番号をもって引用順に記載する。

2つ以上の引用は 1-5), 1, 3, 5) などとする。

II) 文献記載の句読点, 数字は和文, 英文ともに半角を使用する。

III) 雑誌の場合: 著者名(全員). 論文名. 雑誌名. 発行年; 巻: 頁-頁.

なお、外国雑誌名は「List of Journals in Index Medicus」, 国内雑誌名は「医学中央雑誌収載誌目録」に準拠した略誌名とする。

1) Zaman C, Osaki T, Furuta Y, Hojo F, Yonezawa H, Konno M, Kurata S, Hanawa T, Kamiya S.

Enhanced infectivity of strains of *Helicobacter pylori* isolated from children compared with parental strains. J Med Microbiol. 2019; 68: 633-641.

2) 古瀬純司. 膵癌化学療法 of up to date. 日消誌. 2017; 114: 637-643.

IV) 単行本の場合: 著者名. 書籍名. 発行地(外国の場合のみ), 発行所名, 発行年.

単行本の一部の引用の場合: 著者名. 題名. 書籍名. 編者名. 発行地, 発行所名, 発行年, 頁-頁.

1) 和田裕雄, 後藤元. 呼吸器疾患と呼吸機能. 外科医のための循環器必須知識. 吉野秀朗編. メジカルビュー社, 2011, p.113-120.

- 2) Shiohara T, Kano Y. Drug-induced hypersensitivity syndrome. In: Asian Skin and Skin Diseases. Special book of the 2nd World Congress of Dermatology. Eun HC, Kim SC, Lee WS, ed. Seoul, MEDrang Inc, 2011. p.77-84.
- V) ウェブサイト上の文章の場合：著者名. 題名. URL（アクセス日）.
ただし，ウェブサイトからの引用は不可避な必要最小限のものとする。
- 1) 東京都健康安全研究センター. 東京都インフルエンザ情報 第35号. 2023年7月7日発行.
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/assets/flu/2022/Vol25No35.pdf> (accessed 2023-7-13)
- 8) 図説明文は英文で作成し，引用文献の後にまとめて記載する。なお，図には短い表題を付ける。
- 9) 図は図毎にA4サイズで作成する。
- I) 図の右下隅に図の番号，著者名を記入する。
- II) 同じFigureの中の区分はFig. 1A, 1B, 1C, ……のように大文字を用いる。
- III) 図中に書き加える軸目盛や注釈等は英文で作成する。
- IV) 図やグラフの中の文字やシンボル（○，●，△，▲，□，■など）は，印刷の縮小に耐えるサイズにする。
- V) 電子媒体上ではPDFファイルで公開されるので，可能な限り精細かつファイルサイズがコンパクトになるように配慮する。詳細は図表のチェックリストを参照する。
- 10) 表は表題，脚注を含め英文表記で表毎にA4サイズで作成する。表題は表の上に，脚注は表下に付記する。詳細は図表のチェックリストを参照する。
- 11) 論文内容を十分理解する上で重要でありながら，情報量が多いために掲載が困難な図表を Supplementary Materialsとして受け付ける。ただし，論文はSupplementary Materialsを閲覧しなくても理解が出来るように作成する。
- I) Supplementary Materialsも査読の対象となり，論文公開時にはダウンロードして閲覧可能な形で J-Stageに掲載される。
- II) 本文中ではSupplementary Materialsの挿入箇所に，Supplementary Fig. S1もしくはTable S1などと明記する。
- III) 図表はPDFファイルとし，ダウンロードの関係上，ファイルサイズ5MB以下とする。
- IV) Supplementary Materialsの表題及び説明はPDF内に記載し，Referenceが必要な場合も同様にPDF内に示す。
- V) Supplementary Materialsは，本文の図表の規程に準じて作成する。
- 12) 英文抄録は概ね400 words以内で以下を含めて記載する。
- I) 英文標題
- II) 著者名（全員記載のこと：ヘボン式ローマ字）
- III) 所属
- IV) 抄録本文
- V) Keywords
- VI) 筆頭著者および責任著者（corresponding author）の連絡先
- 13) 英文についてはネイティブスピーカーの校閲を受けることが望ましい。ネイティブスピーカーの紹介を希望する場合は，事務局へお問い合わせください。

その他，質問事項は杏林医学会事務局へお問い合わせください。

【投稿先・お問い合わせ先】

杏林医学会 事務局

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2 杏林大学医学図書館内

TEL：0422-47-5511（内線 23314）

FAX：0422-40-7281

e-mail：med_soc@ks.kyorin-u.ac.jp